



宇陀

U D A  
Organic Village

オーガニック  
ビレッジ宣言のまち

# 奈良県宇陀市の農業

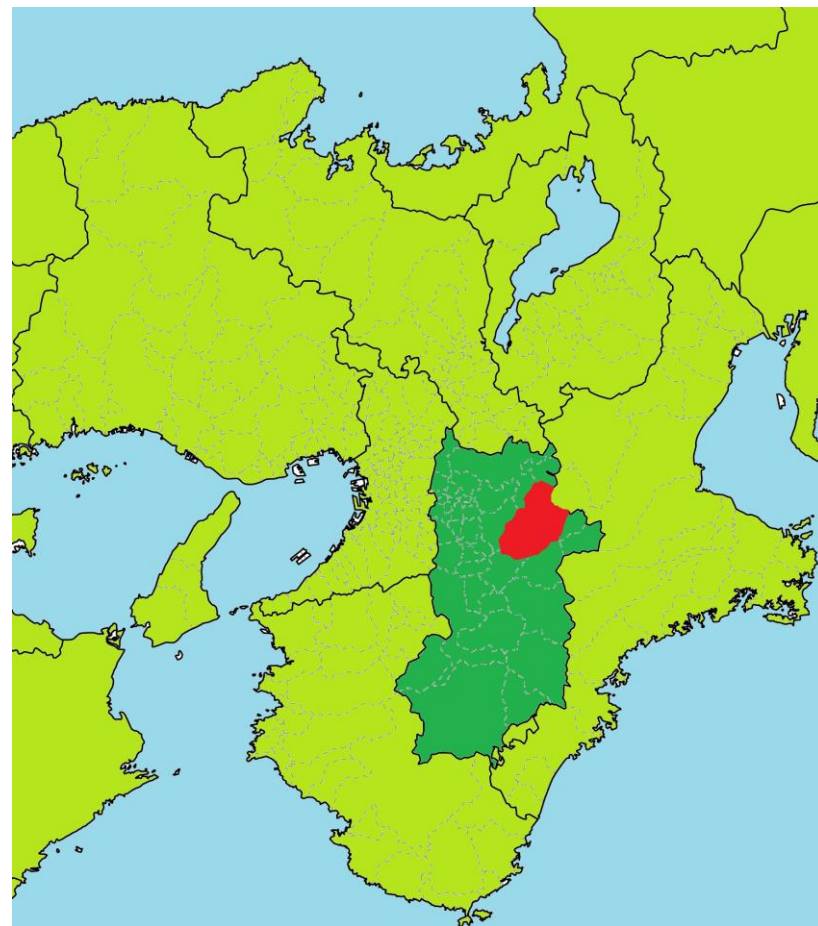
宇陀市は持続可能な農業を目指し、  
有機農業や高収益作物の生産振興に取り組んでいます。



宇陀市長 金剛 一智

## 立地・環境

- ・ 宇陀市は、奈良県の北東部に位置し、北は奈良市、山添村、西は桜井市、南は吉野町、東吉野村、東は曾爾村、三重県名張市に接しています。
- ・ 宇陀市の面積は248 km<sup>2</sup>であり、奈良県全体の6.7%を占めています。
- ・ 大和高原とよばれる高原地帯に位置しており、夏の冷涼な気候を活かした農業が盛んです。
- ・ 土地利用の状況は、山林が全体の74%を占めており、農地は8%です。



# 宇陀市の農業振興の取組み

奈良県と連携し、奈良県独自の取組みである**特定農業振興ゾーン**を伊那佐東部地区（51.5ha）や、**大宇陀政始北部地区**（42.4ha）で設定し、農業の効率化や農地整備等を行い、**高収益作物の生産拡大や品質・生産性の向上**を取り組んでいます。

## 目指す将来像

大和高原宇陀ブランドによる農業振興を目指した  
軟弱野菜、有機野菜、大和野菜、花き等の生産拡大



栽培が盛んな軟弱野菜

(ミズナ、コマツナ、ホウレンソウ等)

有機野菜

花き（ダリア）

大和野菜

高収益作物など

## 取組み

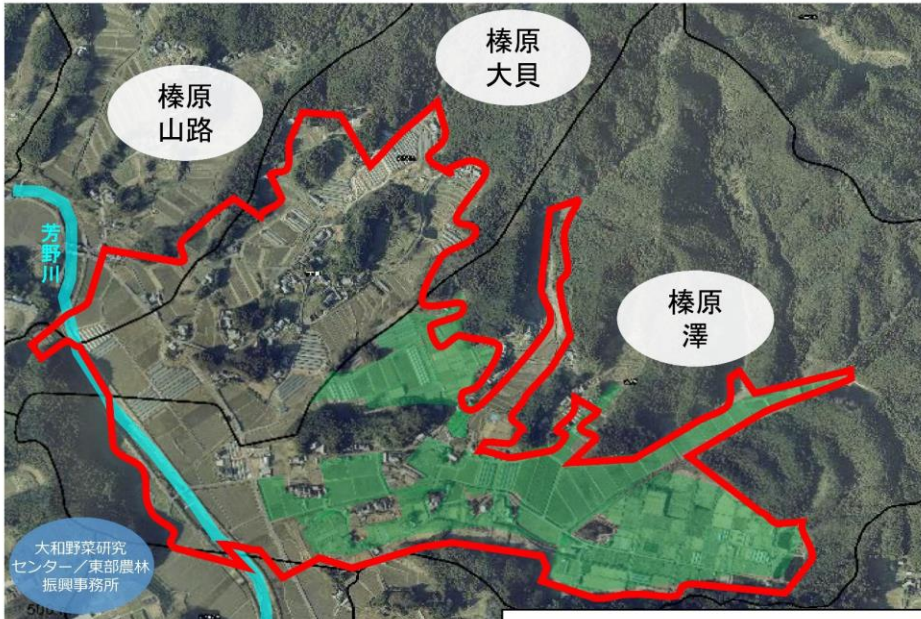
- ・農地中間管理事業を活用して、農業法人や大規模農家、新規就農者など多様な担い手に農地を集積
- ・用排水路施設の更新や整備、土層改良等の基盤整備
- ・高収益作物の生産拡大のためハウスなどの施設整備を進め、省力化のためスマート農業の導入を検討

# 特定農業振興ゾーン「宇陀市 伊那佐東部地区」設定計画の概要



## 地域の現状

- 榛原澤・大貝を中心とした51.5ha(農地面積)  
(国営総合農地開発事業で整備した農地(約22ha)を核とした地域)
- 水稻の他、高原野菜(ミズナ、ハウレンソウ、コマツナ等の軟弱野菜)を中心に、有機野菜やダリアも栽培
- 全国レベルで**優良とされる農業法人等**、多様な担い手の確保が見込まれる地域
- 関係3集落が連携し、あすなろ営農組合を設立(構成員約60名)農地、水路、農道、ため池等の保全管理を実施。



水土里ネットなら農地地図情報システム(GEOSPACE航空写真)引用

国営事業で整備された農地

## 目指す将来像

〈目標〉生産額の増大  
1.65億円(令和2年度)→2.21億円(令和9年度)

**大和高原宇陀ブランドによる農業振興を目指した軟弱野菜、有機野菜、花き等の生産拡大**

## 設定計画の概要

- 軟弱野菜(ミズナ、コマツナ、ハウレンソウ等)や有機野菜、花き(ダリア)等の高収益作物の生産拡大と品質や生産性向上
- ・農地中間管理事業を活用して、農業法人や大規模農家、新規就農者など多様な担い手に農地を集積
- ・用排水路施設の更新や整備、土層改良等の基盤整備
- ・高収益作物の生産拡大のためハウスなどの施設整備を進め、省力化のためスマート農業の導入を検討

# 特定農業振興ゾーン「宇陀市大宇陀政始北部地区」設定計画の概要



## 地域の現況

- 宇陀市 大宇陀 岩清水を中心とした約34haの農地  
(国営総合農地開発事業の整備農地を核とした地域)
- 水稲の他、**軟弱野菜**(コマツナ、ホウレンソウ、リーフレタス等)や**大和の伝統野菜**(祝だいこん、宇陀金ごぼう)、**西洋野菜**(ケール等)を栽培
- 農業者の共同出荷グループの拠点があり、企業が設立した農業法人や意欲的な若手農業者等、多様な担い手の確保が見込まれる地域



## 目指す将来像

既存の振興ゾーンと連携し、大和高原宇陀ブランドによる農業振興を目指した軟弱野菜、大和の伝統野菜等の生産拡大

〈目標〉生産額の増大  
0.99億円 (R 4年度) → 1.29億円 (R 11年度)

## 設定計画の概要

- 軟弱野菜や祝だいこん、ケール等の**高収益作物**の生産拡大と**品質や生産性向上**
- 農地中間管理事業**を活用して、農業法人や認定農業者等の担い手へ農地を集積
- 用排水路施設の更新・整備、スマート農業向けインフラ・システム整備、鳥獣害防止柵設置**
- ヨモギなど薬用植物等を活用した**耕作放棄地解消**や6次産業化を検討



水土里ネットなら農地地回情報システム (GEOSPACER 航空写真) 引用

## 宇陀市



宇陀市では、豊かな自然環境と大和高原地域の恵まれた気候等から、有機農業が盛んで、多くの生産者が意欲的に活動されています。

SDGsへの対応や環境に優しい農業が求められる時代へ向かい、本市は、持続可能な農業の振興と環境負荷軽減のため、有機農業を地域全体で推進します。

みどりの食料システム戦略を踏まえ、生産者のみならず市内外の事業者や消費者それぞれの理解と連携を深め、有機農産物の生産から消費までを通し、有機農業の推進に向けた取組を展開していきます。

宇陀市は、これら有機農業推進の取組を起点とし、食と農の活性化により、魅力あるまちづくりを目指し、ここに「オーガニックビレッジ宣言」をします。

令和4年11月27日

宇陀市長 **金剛一智**

○有機農業の面積拡大

R 3 21.2ha → R 9 22ha

○有機農産物の販売量拡大

R 3 275.2t → R 9 290t

○有機農業者の増加

R 3 15人 → R 9 20人



宇陀市公民連携プラットフォーム  
第1回キックオフフォーラムにて宣言

# オーガニックビレッジ取組み経緯

## 宇陀市の有機農業の課題

- ・生産性の向上
- ・フードロスの削減
- ・規格外品の活用
- ・多様な販売先の確保
- ・担い手の育成

## 農業を取り巻く情勢

- ・担い手の減少
- ・遊休農地の増加
- ・燃料・肥料価格の高騰
- ・気候変動・自然災害
- ・新型コロナによる消費の変化
- ・地球環境問題とSDGsへの対応

## みどりの食料システム戦略

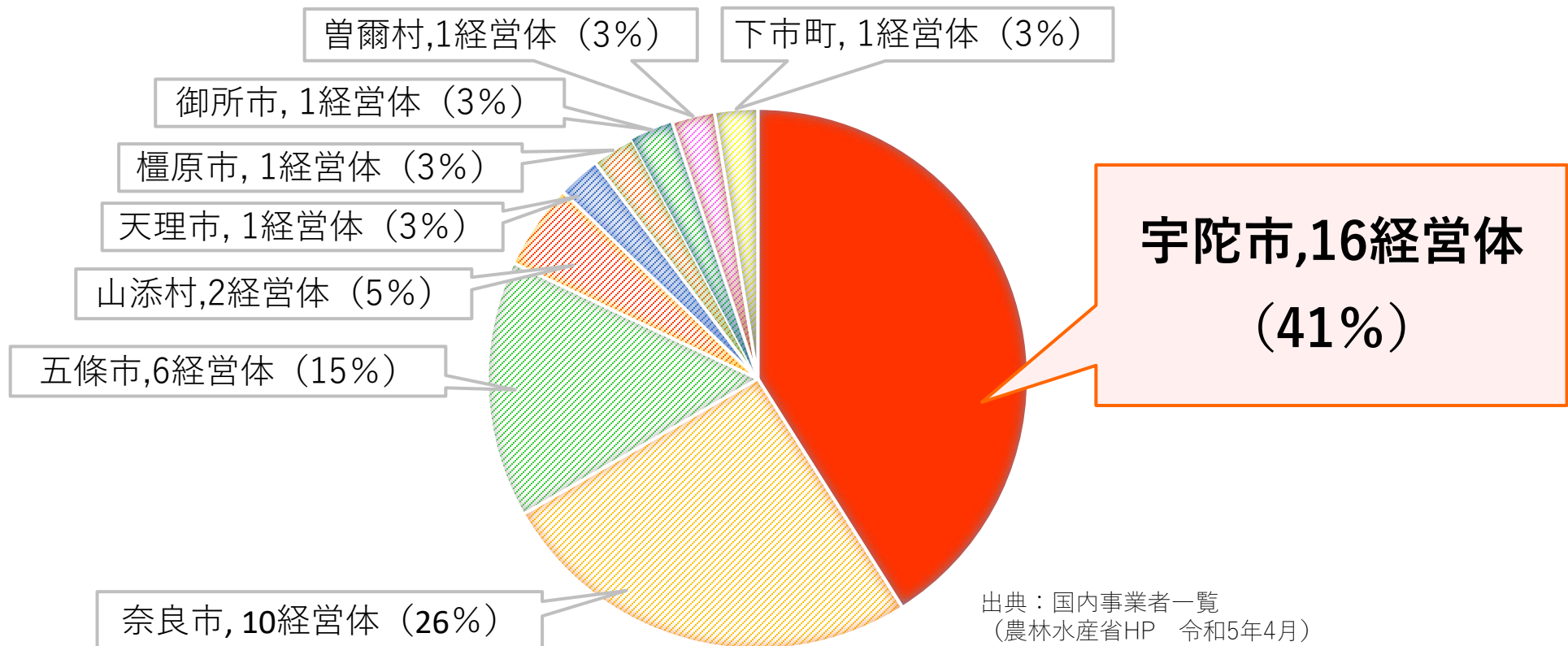
## オーガニックビレッジを起点に

- ・持続可能な農業の振興
- ・食と農の活性化による魅力あるまちづくり

# これまでの取り組み

冷涼な気候等から、有機農業が盛ん。有機農業の担い手は、10経営体が参加する山口農園グループや企業が設立した農業法人の類農園、はじまり屋、奈良みらいデザイン(株)等があり、独自の販路確保や担い手育成等、多様な経営を展開。

## 奈良県内の有機農産物の経営体数

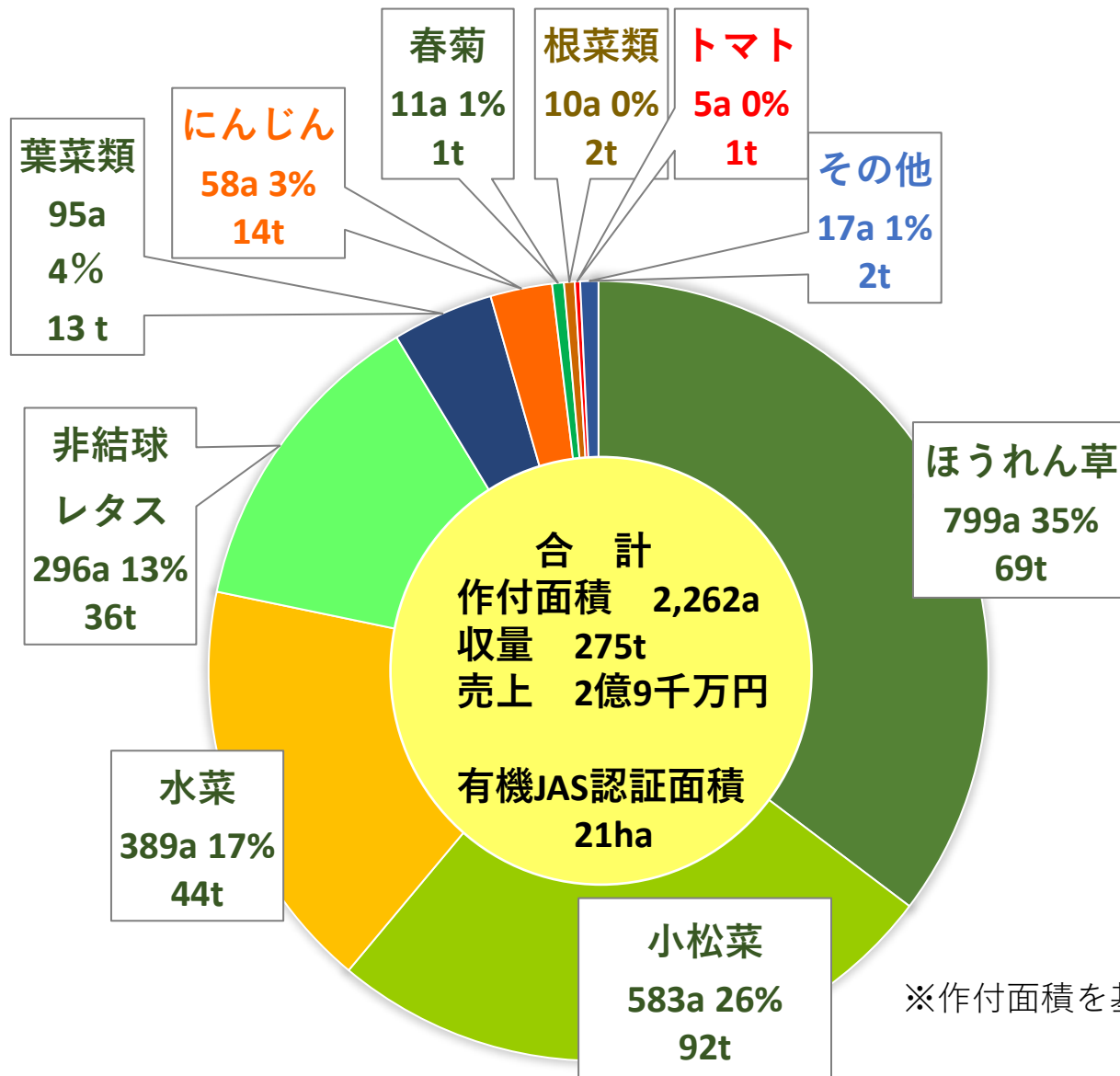


出典：国内事業者一覧  
 (農林水産省HP 令和5年4月)  
 (有機農産物の生産工程管理者を圃場所在地で整理)



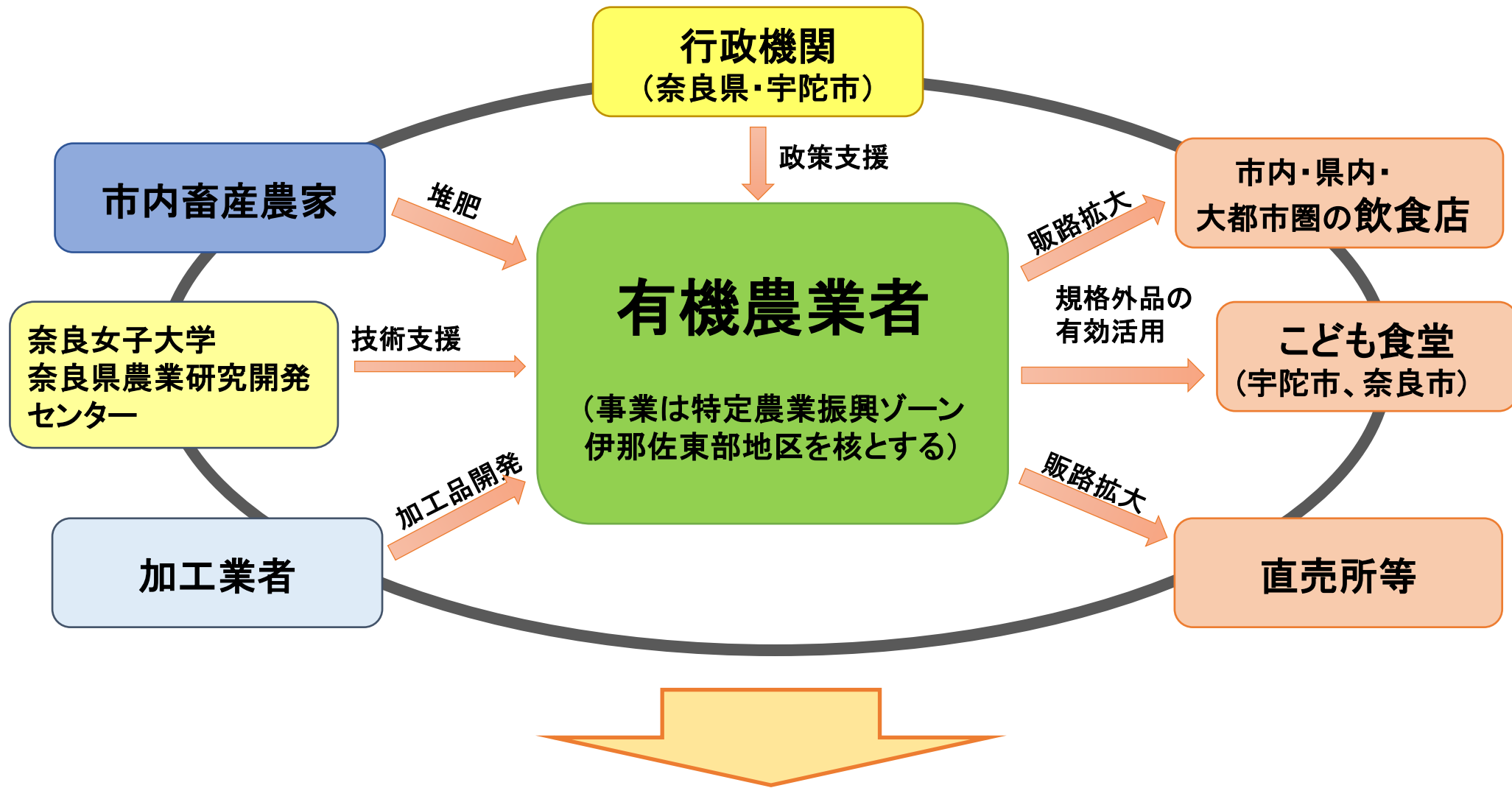
# 宇陀市の有機農業の現状

宇陀市における有機農業の状況（作付面積と収量）（推計値）



※作付面積を基準としてグラフを作成

# 推進体制



**有機農業の一大拠点(オーガニックビレッジ)の創出**

# 宇陀市の取組み（生産）

## 1. 有機農業の普及

- 有機農業への新規参入に向け、研修会の開催、参入支援の実施
- 市内畜産堆肥の生産や活用方法を検討・改善※

※宇陀市は肉用牛の生産が盛ん。県全体の約8割を肥育。

## 2. 生産出荷調整作業の改善

- 作業効率改善に向けたフードロス削減指導研修会の開催

## 3. 長期鮮度保持の実践・拡大

- 新技術(長期鮮度保持可能な電場冷蔵庫)による  
安定的・効率化な出荷体制の試行



市内畜産堆肥の活用



企業の業務改善ノウハウによる  
栽培管理作業



長期鮮度保持可能な  
電場冷蔵庫

# 宇陀市の取組み（流通、加工、消費）

## 1. 加工品の開発

- 規格外品を利用した常温保存可能なペースト、二次加工商品の開発

## 2. 加工品のPR・規格外品の活用

- ペーストを活用したメニュー開発及び販路開拓

## 3. 規格外品の物流開拓・商品化

- こども食堂等への規格外品の出荷拡大
- 福祉施設との連携による仕組みづくり

## 4. 消費PR活動等

- 市内外直売所やイベントへの出店支援
- 市民への食育活動
- PRホームページ・シンボルの作成
- 通販サイトの制作・運用
- 有機農産物を活用した学校給食



規格外品を利用した  
無添加無着色のペースト



フードソリューションズフェア2022に出展



FOODEX JAPAN2023に出展